AKO CITY
赤穂市

ニュースレポート

令和５年２月８日

報　道　機　関　　各　位

観光課観光係

タイトル　播磨の日本遺産展示会の開催について

下記のとおり報告いたしますのでよろしくお願いいたします。

行事・事業名	播磨の日本遺産展示会
日　　時	令和５年２月 18 日（土）～２月 28 日（火） 10 時～21 時
場所・住所	イオンモール姫路大津 １階（アズールバイマウジー前）
趣旨・目的（ＰＲしたいこと） 播磨地域の４つの日本遺産について、その魅力を広く知っていただくため、日本遺産の構成文化財のパネル展示等を行う「播磨の日本遺産展示会」が開催されます。 〇主催等 主催：姫路市 協力：高砂市・加西市・たつの市・赤穂市	
問い合わせ先	部課係名：産業振興部観光課 担当者名：寺下、長尾 電　　話：0791-43-6839　内線（2261） Ｆ　Ａ　Ｘ：0791-43-3400

〇添付資料（有・無）　〇ホームページへの掲載（有・無）　〇議会報告（有・無）

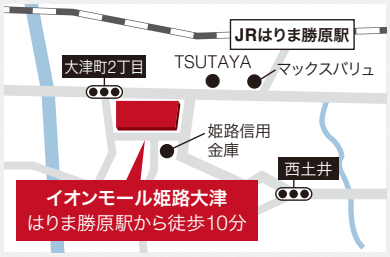
播磨の日本遺産展示会

JAPAN HERITAGE
日本遺産

播磨地域には、4つの日本遺産があります。『播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道～資源大国日本の記憶をたどる73kmの轍～』、『荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～』、『1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼～』、『「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂』。この度、その魅力を広く知っていただくため、赤穂市・高砂市・加西市・たつの市の協力のもと、日本遺産の構成文化財のパネル展示等を行います。無料となっておりますので、ぜひ足をお運びください。

日 時 令和5年2月18日（土）
～2月28日（火） 10時～21時

場 所 イオンモール姫路大津
1階（アズールバイマウジー前）



播但貫く、銀の馬車道　鉱石の道
～資源大国日本の記憶をたどる73kmの轍～
（養父市・朝来市・神河町・市川町・福崎町・姫路市）

荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間
～北前船寄港地・船主集落～
（姫路市・高砂市・赤穂市・たつの市を含む49自治体）

1300年つづく日本の終活の旅
～西国三十三所観音巡礼～
（姫路市・加西市を含む81団体）

「日本第一」の塩を産したまち
播州赤穂
（赤穂市）

主催：姫路市　協力：赤穂市・高砂市・加西市・たつの市

日本遺産とは

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が「日本遺産」に認定するとともに、
ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、
国内外に戦略的に発信することにより、地域の活性化を図ります。

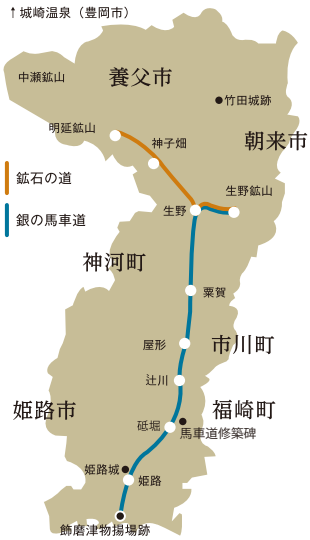
播磨の日本遺産

播但貫く、銀の馬車道　鉱石の道
～資源大国日本の記憶をたどる73kmの轍～

兵庫県中央部の播但地域。そこには、明治9年に日本初の高速産業道路として建設された、飾磨津（現姫路港）から生野鉱山へ至る"銀の馬車道"があります。さらには、生野、神子畑、明延及び中瀬へと連なる鉱山エリア"鉱石の道"が続きます。南北に貫く全長73kmのこの道は、鉱石や生活資材を乗せた馬車や人々が盛んに行き交い、経済、技術、文化発展の礎となり、日本の近代化を牽引しました。
今なお地域に残る当時の志と息遣い、そして現在へと繋がれた歴史の轍は、日本遺産に認定され、さらなる未来へと繋がっていきます。

飾磨津物揚場跡

馬車道修築碑



荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間
～北前船寄港地・船主集落～

日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。
これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。

浜の宮天満宮の神牛

湛保

中島家住宅

正法寺の唐戸

九所御霊天神社の玉垣

北前船古文書群

1300年つづく日本の終活の旅
～西国三十三所観音巡礼～

究極の終活とは、ただ死に向かって人生の整理をすることではありません。人生を通して、いかに充実した心の生活を送れるかを考えることが、日本人にとっての究極の終活です。そして、それを達成できるのが西国三十三所観音巡礼なのです。
日本人は海外の人から『COOL!』だと言われます。そのように評価されるのは、優しさ・心遣い・勤勉さといった日本人の本来の心であり、実はそれは日本人が親しんできた「観音さん」の教えそのものです。観音を巡り日本人本来の豊かな心で生きるきっかけとなる旅、それが西国三十三所観音巡礼なのです。

圓教寺（えんぎょうじ）と六臂如意輪観世音菩薩（ろっぴにょいりんかんぜおんぼさつ）

「日本第一」の塩を産したまち播州赤穂

江戸時代、システマティックな入浜塩田（いりはまえんでん）による塩づくりが確立された播州赤穂。瀬戸内の穏やかな海と気候に抱かれ、千種川が中国山地からもたらした良質の砂からできた広大な干潟は、入浜塩田の開発に適していました。
その製塩技術は、瀬戸内海沿岸に広がり、市場を席巻（せっけん）するまでに成長しました。なかでも赤穂の塩は、国内きってのブランドとして名を馳（は）せ、赤穂に多彩な恵みをもたらしました。このまちには瀬戸内海から生み出される塩とともに歩んできた歴史文化が蓄積され、現在に息づいています。
赤穂は今なお「塩の国」なのです。

赤穂市立海洋科学館「塩の国」